

前回委員会における需給・価格見通しと実績の対比

1. 前回の委員会（平成 21 年 10 月 29 日）で示した冬キャベツの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（2 月中旬時点）	備 考
冬キャベツ （11～3 月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作付面積は、前年を上回る。 ・ 生育・供給状況は、台風 18 号の影響で小玉傾向であるが、年内は順調に出荷の見込み。 ・ 消費に関しては、横ばいとなっていることから、価格は、前年を下回ることが見込まれる。 	<p>（入荷量）</p> <p>10 月の千葉産等の潤沢な入荷による過剰感の中、11・12 月には愛知産（台風 18 号の影響を強く受けなかったもの）が順調に入荷されたため、年内は前年に比べて約 2 割の入荷増となった。年明け後は、当期の主力である愛知産が低温、干ばつや台風 18 号の影響（褐変、小玉化）により、一転して入荷減となったが、<u>全体としては前年を上回った</u>。（11～2 月中旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：106）</p> <p>（価格）</p> <p>潤沢な入荷が長期間続いたことから、価格は低迷を続けた。特に 11 月から 12 月中旬にかけては、前年の 4・5 割程度まで落ち込むなどしたこともあり、<u>全体として前年を大きく下回った</u>。（11～2 月中旬の東京都中央卸売市場卸売価格の前年比：77）</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪府中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

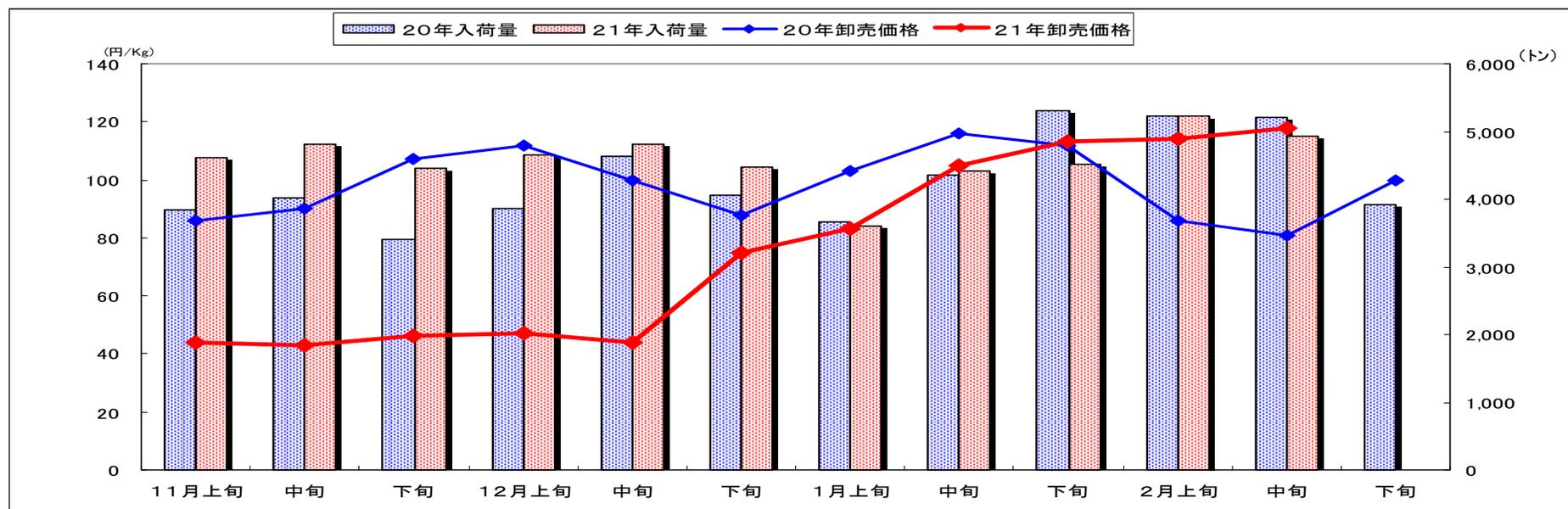
(参考1)

○21年産冬キャベツの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	120	120	131	121	104	111	98	101	85	100	95	—	106
価格	51	48	43	42	44	85	81	91	101	133	146	—	77

(参考2)

○21年産冬キャベツの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場、入荷量は各旬における平均日量）



2. 前回の委員会（平成 21 年 10 月 29 日）で示した秋冬だいこんの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（2 月中旬時点）	備 考
秋冬だいこん （10～3 月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作付面積は、前年をやや下回る。 ・ 生育状況は、台風 18 号の影響があるものの、おおむね順調。 ・ 出荷は、前年並か、前年をやや下回ると見込まれ、特に年明けはその傾向が強まると見られる。 ・ 一方、消費は伸びが見込めないことから、価格は、横ばいで推移することが見込まれる。 	<p>（入荷量）</p> <p>10・11 月は天候の回復により、当期主力の青森産や千葉産を中心に前年に比べて入荷増となった。しかし、12 月中旬以降は千葉産や神奈川県産で、低温の影響による小振り化から入荷減となったが、<u>全体としては前年をわずかに上回った。</u>（11～2 月中旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：101）</p> <p>（価格）</p> <p>年内は、潤沢な入荷が続いたことや、温暖な気候に伴う消費の低迷により、前年を大きく下回って推移した一方で、年末年始の寒波を受けて以降は、一転して前年を上回る状況にあるが、<u>全体としては前年を下回った。</u>（11～2 月中旬の東京都中央卸売市場卸売価格の前年比：98）</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪府中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

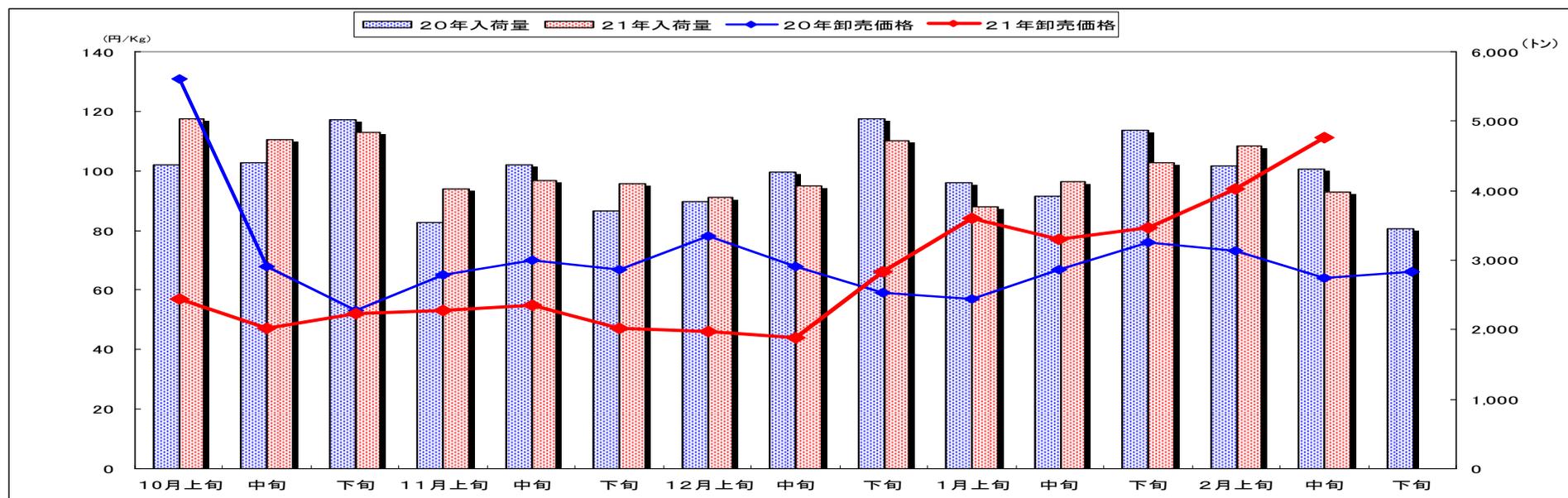
(参考1)

○21年産秋冬だいこんの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	10月			11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	115	107	96	114	95	111	102	95	94	92	105	90	107	92	—	101
価格	44	69	98	82	79	70	59	65	112	147	115	107	129	173	—	98

(参考2)

○21年産秋冬だいこんの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場、入荷量は各旬における平均日量）



3. 前回の委員会（平成 21 年 10 月 29 日）で示した秋冬はくさいの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（2 月中旬時点）	備 考
秋冬はくさい （10 月～3 月）	<ul style="list-style-type: none"> 作付面積は、前年並。 台風 18 号の影響はあるものの、出荷量は、年内は前年を上回る見込み。年明けは、平年より少ない可能性がある。 このため、価格は年内は前年をやや下回る可能性が高いが、年明けには変動が生じる可能性がある。 	<p>（入荷量）</p> <p>産地が切り替わる 10 月は、（終盤の）長野産の入荷減と（序盤の）茨城産等の入荷増により、前年並となった。11・12 月も、当期主力の茨城産で、温暖傾向にもかかわらず、曇雨天が多かったことから入荷が伸びず、前年並となった。1 月は、低温の影響による小玉化から入荷減となり、2 月は小玉傾向ながらも収穫が進んだ結果、<u>全体として前年並となった</u>。（11～2 月中旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：100）</p> <p>（価格）</p> <p>年内が温暖傾向で推移したことに加え、寒波が到来しても消費が大きく伸びなかったことから、前年の約 5 割の水準を示すなど、期間を通して低迷した状況が続いた結果、<u>全体として前年を大きく下回った</u>。（11～2 月中旬の東京都中央卸売市場卸売価格の前年比：76）</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪市中心卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

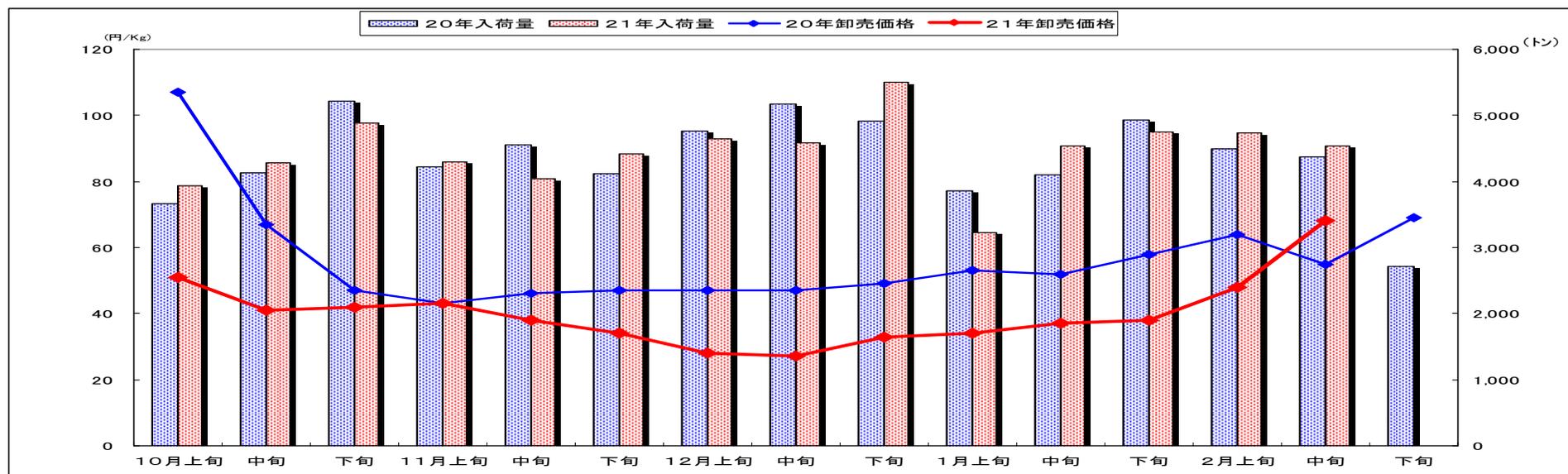
(参考1)

○21年産秋冬はくさいの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	10月			11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	107	104	93	102	89	107	97	89	112	84	111	96	106	104	—	100
価格	48	61	89	100	83	72	60	57	67	64	71	66	75	124	—	76

(参考2)

○21年産秋冬はくさいの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場、入荷量は各旬における平均日量）



4. 前回の委員会（平成21年10月29日）で示したたまねぎの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（2月中旬時点）	備 考
たまねぎ （11～4月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作付面積は、前年並。 ・ 生育状況は、天候不順の影響により、平年及び前年より著しく悪く（小玉化など）、出荷量は、平年及び前年を大きく下回る見通し。 ・ このため、価格は前年を上回ることが見込まれる。 	（入荷量） 7月以降の全国的な日照不足や平年以上の降雨、さらには7月中旬以降の低温などにより、主力の北海道産が生育に大きな影響（小玉化など）を受けた結果、期間を通してほぼ前年を下回って推移し、 <u>全体としても前年を下回った</u> 。（11～2月中旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：93） （価格） 上記の理由による不足感から、特に12月中旬以降は前年に比べて約6・7割も高くなるなど、 <u>全体として前年を大きく上回った</u> 。（11～2月中旬の東京都中央卸売市場卸売価格の前年比：152）	

注) 「実績」については、「東京都および大阪府中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。

(参考1)

○21年産たまねぎ入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	100	93	99	98	87	110	63	99	87	95	90	—	93
価格	129	130	137	141	155	162	157	162	169	170	161	—	152

(参考2)

○21年産たまねぎの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場、入荷量は各旬における平均日量）

